

# 高梁偉人列伝 ⑱



明治36年ごろの網島栄一郎

網島栄一郎(梁川)は、東京専門学校(後の早稲田大学)を明治28年7月に22歳で卒業しました。卒業後も引き続き、坪内逍遙の下で雑誌『早稲田文学』の記者として原稿を書き編集の仕事に当たりました。

卒業して間もない9月、郷里有漢に帰る、家族の無事を確かめ、3歳下の弟、建部政治を伴って上京しました。政治は幼少のころから建部家の養子として育ち、母校の助教をしながら将来画家になる夢もっていました。このとき上京して念願の東京美術学校への進学を目指してました。その後、彼は日本画を学び、静観という号をもって画家として活躍します。

梁川は雑誌編集の仕事に加え専門学校講義録の原稿も引き受け、給料と原

稿料の収入で次第に生活の安定も図れるようになっていきました。その矢先、明治29年4月30日の夕方、疲れて家に帰ると突然咯血して倒れました。容易ならぬ容態と見えたので、坪内家出入りの医師・前田秀村を呼び診察してもらい、すぐに結核と診断されました。前田医師は結核の治療には経験が深く、看護上必要な注意を与えられ療養していましたが、5月末からは転地療養がよいと逗子の海岸近くで保養生活に入りました。約1カ月ではほぼ全快したかに見え帰郷したものの完治とはいかず、根本的な治療が必要として7月から前田医師の紹介で神戸の諏訪山吉田病院へ入院することになりました。肺と喉を痛めていたので格別懇切な治療を受け、約8カ月間滞留しました。

明治30年の2月には一旦回復して帰京し、再び早稲田文学の編集と専門学校の講義録執筆の仕事に従事しました。哲学宗教学の論文や翻訳、美術関係の評論など多彩な活動を精力的にこなしました。こうして、収入面に多少のゆとりができたところで、この年の10月、故郷の有漢から母くめと妹ふじ



明治31年ごろの家族写真。手前右側が栄一郎

を迎え、在京の弟政治と家族揃っての東京生活が始まりました。翌年1月には自宅を牛込区余丁町へ転居し、梁川にとって得意絶頂の時期でした。ところが、順調に見えた雑誌『早稲田文学』は31年10月号をもって廃刊することとなり、職を失うことになりました。しかし翌32年1月、創刊される雑誌『日本教育の主筆』に迎えられ、教育倫理の主張や評論を毎号掲載しましたが、この年4月、病のため職を辞し、再び転地療養ということで神奈川県小田原近くの早川という海岸宿で静養することになりました。このとき療養の合間に手がけていたのが「スチーブンの倫理学」の翻訳でした。8月には小康を得て東京に帰りました。ところが既に日本教育は廃刊となっており、以後彼の論文は雑誌『大帝国』、『教育学術界』、『新太陽』、そして『大阪毎日新聞』、『読売

新聞などに寄稿され、この執筆原稿料が収入源となりました。翌33年の6月には「スチーブン倫理学解説」が出版されました。11月には恩師である大西祝が36歳の若さで死去し、深い悲しみに包まれました。

一方、彼自身の病状も悪化の一途をたどり、この頃から、病床の人となりました。しかし、病床にあっても気力を失うことなく、著作に専念し、評論活動を続けました。この時期から35年ごろまでは倫理の時代と呼ばれ、倫理思想の研究に努力しています。

明治34年には、「神の人格性について」「快樂派倫理」「マッケンジー氏の倫理学」「シジウィック氏倫理学」、更に35年出版の「西洋倫理学史」、そして後年出版される「春秋倫理思想史」など倫理思想史の世界的・体系的な研究が構想されました。

このように、梁川は倫理哲学の分野で欧米の思想を紹介しただけでなく、わが国の仏教思想や中国の儒教その他の思想などと比較検討しながら批判的に受容する道を究めていったのです。

(次号へつづく)

# 明治の思想家 網島梁川

## 第3回

文 秋葉 将

網島梁川顕彰会会長

### 闘病の中での文筆活動

### クリスマスを図書館で過ごしませんか？

#### クリスマスBOOKS

クリスマスにお勧めする本を1袋3冊入りで貸し出しています。中身は開けてからのお楽しみです。図書館のサンタから新しい本との出会いをプレゼントします。

期間：12月25日(月)まで

場所：高梁市図書館3階カウンター前・4階キッズライブラリー

#### クリスマスコンサート

高梁少年少女合唱団によるクリスマスメドレーをぜひお聴きください。

日時：12月24日(日)午後3時～

場所：高梁市図書館2階



館内もクリスマスの雰囲気。フотスポットも用意しています

☎高梁市図書館 ☎(22) 2912 午前9時～午後9時(年中無休)

### 今月のおすすめ図書

『キュロテ 世界の偉大な15人の女性たち』

著者：ペネロープ・バジュー 訳：関澄かおる

出版社：DU BOOKS



高梁市図書館 渡辺 亜紀子さん

自分を取り巻く困難な状況をもとめせず、自分の生き方を貫いた15人の女性たちを、ユーモラスかつ分かりやすく紹介しています。各章の最後に見開き一枚で描かれたイラストが、彼女たちの生きざまを見事に描いています。その波乱に満ちた人生を知った後に見ると、非常に感慨深く感動的です。

### えほんの読み聞かせ～成羽図書館～

日時：平成30年1月13日(土)午前10時～

小型絵本：「おせちいっかのおしょうがつ」

大型絵本：「ちからたろう」

紙芝居：「しろいやさしいぞうのおはなし」

ゲーム：イカ・タコ・クラゲレース

☎成羽図書館 ☎(42) 2589 午前9時～午後5時(月曜日休館)

### 1月の移動図書館

10日(木)	川上小学校 西山郵便局横 富家小学校 イズミゆめタウン 中電社宅前	10:00～10:25 11:40～12:10 13:05～13:25 14:15～15:15 15:20～15:40
11日(金)	巨瀬地域市民センター 玉川小学校 ポルカ天満屋ハッピータウン 有漢東小学校	10:00～10:30 12:40～13:40 14:00～15:00 15:30～15:55
12日(土)	中井小学校 高倉地域市民センター 中井地域市民センター	10:00～11:00 13:00～13:30 14:00～15:00
16日(火)	川面小学校 川面地域市民センター 巨瀬小学校 落合地域市民センター 津川地域市民センター	10:00～10:30 10:30～11:30 13:00～13:30 14:00～15:00 15:30～16:00
17日(水)	有漢西小学校	10:10～10:40
18日(木)	福地小学校 やまびこカフェ	10:15～10:40 11:15～12:15

18日(木)	宇治地域市民センター 宇治小学校 松原小学校	13:30～14:30 14:30～15:00 16:00～16:20
19日(金)	津川小学校	13:05～14:00
22日(月)	玉川地域市民センター ささゆり苑 中コミュニティセンター 吹屋連絡所 養護老人ホーム成羽川荘 日名神楽公園	10:00～11:00 11:40～12:10 12:15～12:45 14:15～14:45 15:30～15:45 16:00～16:30
24日(水)	川上小学校 西山郵便局横 イズミゆめタウン 中電社宅前	10:00～10:25 11:40～12:10 14:15～15:15 15:20～15:40
25日(木)	巨瀬地域市民センター 玉川小学校 ポルカ天満屋ハッピータウン 有漢東小学校	10:00～10:30 12:40～13:40 14:00～15:00 15:30～15:55
26日(金)	中井小学校 高倉地域市民センター 中井地域市民センター	10:00～11:00 13:00～13:30 14:00～15:00